

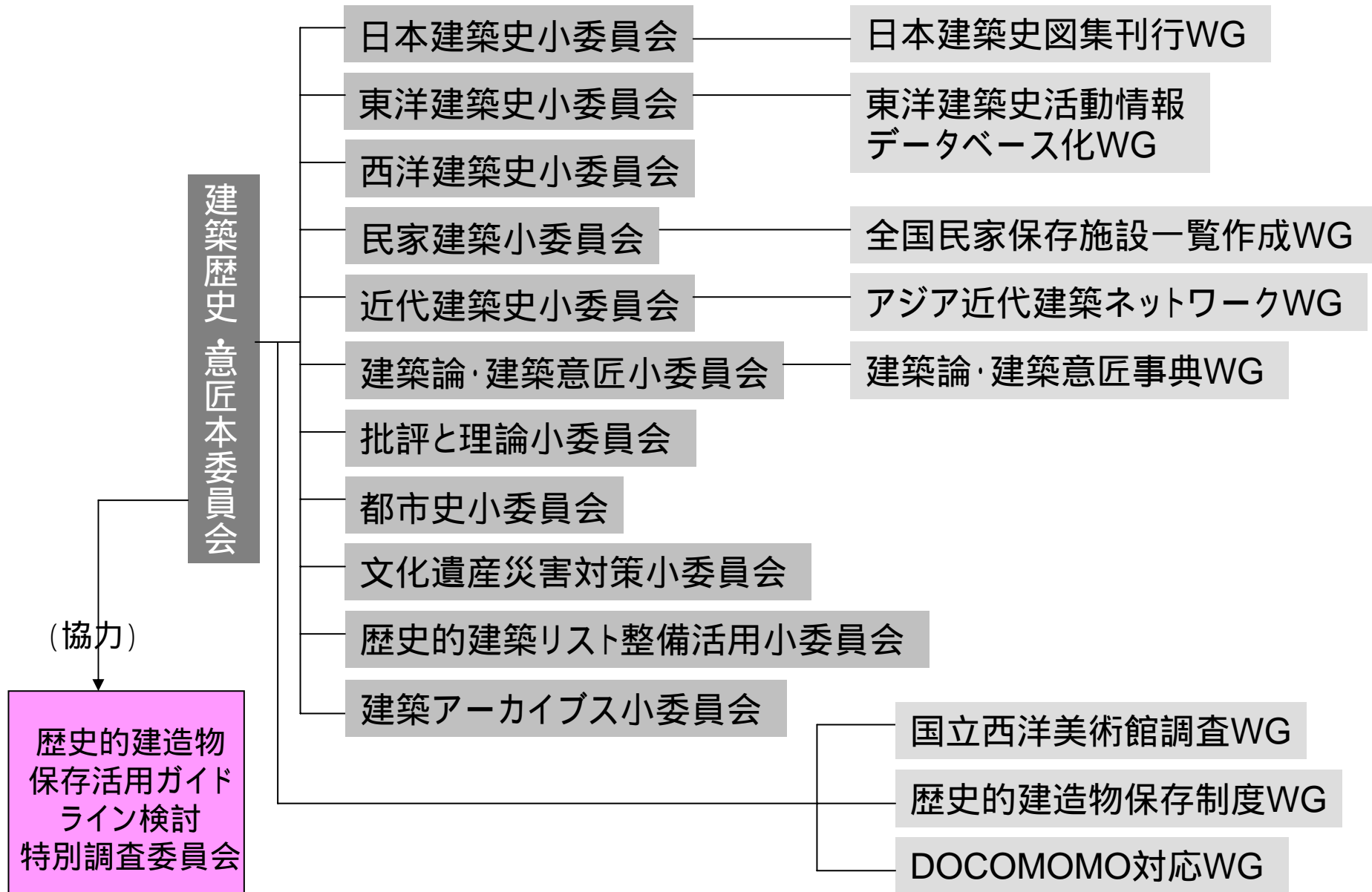
2005 ~ 2006年度
建築歴史・意匠委員会活動報告

2007年3月20日
於：學術推進委員会

2007.3.20

於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

建築歴史・意匠委員会の概要



建築歴史・意匠委員会

2007.3.20

於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

委員長：吉田鋼市

最近の活動

- 1) 歴史的建造物の保存・活用などに関する要望の原案作り
2005年度；3件、2006年度；4件
例；元町公園・旧元町小学校(東京・文京区)〔都市計画委員会と共同〕
東京中央郵便局・大阪中央郵便局
国際文化会館再生事業(2004年度協力 2006年3月竣工)
- 2) 幅広いテーマによる研究集会 / 研究成果の社会的還元 / 社会への提言
例；2006年大会(関東)研究協議会「10年経った登録文化財 - 文化継承のために
建築学会が果たすべき役割 - 」
展覧会「建築家山田守展」〔建築博物館に協力〕
シンポ「三信ビルの存続に向けて」〔関東支部・日本建築家協会に協力〕
提言「我が国建築アーカイブス環境の整備」〔協力、2005年・国交大臣へ要望〕

今後の活動

- 1) 社会性のあるテーマ設定による研究集会
例；2007年日本建築学会大会(九州)
研究協議会「建築における衰退の歴史」
- 2) 調査研究成果の社会的還元
例；『日本建築史図集』改訂
DOCOMOMO展
「歴史的建築総目録データベース」の活用

歴史的建造物の
保存再生

文化遺産を活用した
快適な居住環境創造

日本建築史小委員会

2007.3.20

於: 学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

主査: 藤井恵介

目的: 日本建築史研究の発展および歴史的建造物保存のため、
情報の交換、シンポジウムの開催を主たる目的とする。

日本建築史研究の発展 / 情報の交換 『日本建築史図集』(1980年改訂新版)の改訂



建築教育に必要不可欠な教材 研究成果の還元

討論会「様式の折衷とは何か - 日本建築の様式を問う」開催(2006年3月1日)

日本建築における様式概念を考え、様式そのものを再考

日本建築の中の様式

神社建築と様式概念

近世における和様と唐様

「和様」概念をめぐって - 「和様化」という概念

西洋建築史小委員会の概要

2007.3.20

於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

目 的

若手研究者の育成・強化
日本における西洋建築史研究のあり方の検討
国際交流の推進
『図集』のメンテナンスとその新たな展開の検討

主査：西田雅嗣
委員12名

西洋建築史研究
の活発化

西洋建築史研究
の意義を問う

最近の活動

上記目的達成のための具体策の検討
-若手研究者の発表の場の検討
-新しい研究動向の調査
-海外研究者との交流関係に関する情報交換
-新訂『図集』案の検討の開始

『図集』の意義



今後の活動

上記検討案を具体的活動として計画し実施に繋げる
-若手研究者を囲んでの研究会の計画と実施
-日本建築史小委員会、その他関連他分野との交流
-海外研究者との日常的な交流の公開に向けての検討
-デジタルアーカイブの検討と『新訂図集』の具体案



民家小委員会

2007.3.20

於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

主査：大場 修
委員15名

目的：伝統的民家・町家、歴史的町並に関する研究や保存修復に関わり、学術的立場からこれらの課題を明らかにしつつ、課題解決に相応しい具体的な諸事業に取り組むこと。

最近の活動

1) 研究成果の公表

『日本の民家1・2』(日本民家スライド集)編集(建築学会発行)

『日本民家語彙集解』編集(日外アソシエーツ発行)

日韓民家シンポジウム開催(93/94/95/97年)

2) 研究・保存修復情報の交換と共有化

『民家・町並みニュース』発行(1977年～・年刊、2006年No.29)

05年度大会PD「民家研究50年の軌跡と民家再生の課題」

今後の活動

1) 『民家・町並みニュース』No.30の刊行

2) 07年度大会PD「東アジアから日本の都市住宅(町家)を捉える」開催

3) 委員会HPの開設：民家研究・保存情報の積極的発信

4) 民家研究史の総括と民家保存、再生など今日的諸課題に対する啓蒙・啓発を目的とする著書の編集・発行

民家・町並みニュース No.29

調査動向、論文・出版物
新指定重要文化財・新規指定重要伝統地区
登録文化財リスト追加取組(解説付き、一筆写真付き、全部門、第48回～52回)
民家関連新聞記事リスト



新指定重要文化財 稻井田家住宅(埼玉県八潮市)

2006.8

社団法人 日本建築学会
建築歴史・意匠委員会 民家小委員会 編

『民家・町並みニュース』No.29表紙
(民家小委員会HP上で公開予定)

近代建築史小委員会

2007.3.20
於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

主査：内田青蔵
委員15名

目的：近代建築に関する保存問題ならびに、
その活用問題を中心テーマとした活動を行う。

最近の活動

1)近代建築の基礎データ収集と公表

例：『日本近代建築総覧』追補(『建築雑誌』連載)

2)近代建築の保存・再生事例の収集と公表

例：『近代建築の保存と再生』(『建築知識』『住宅建築』連載)

3)近代建築史に関する研究史構築と基礎資料整理

例：連続シンポ「近代建築史研究の現状と今後」(2005.3～)



今後の活動

1)『日本近代建築総覧』追補リストの補充

2)保存・再生事例の全国リスト作成と分析

4)近代建築史の研究史構築

例：連続シンポ「近代建築史の最先端」などの継続

多様な保存・再生事例への対応

近代建築の評価・位置付け

3)保存・再生事例集の作成



近代建築史小委員会

2007.3.20

於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

1) 近代建築の保存・再生事例の収集と公表

「時を越えて生きる－近代建築の保存と再生」『住宅建築』連載事例

文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)(2006年2月号)

銀河館の保存再生(2006年5月号)

龍興寺客殿(旧藤山雷太郎日本家)(2007年1月号)

2) 近代建築史に関する研究史構築「連続シンポジウム」

「近代建築史研究の現状と今後」(2005)

「近代建築史の最先端」(2007)



龍興寺客殿



2007年度日本建築学会近代建築史小委員会主催

近代建築史の最先端

日時 2007年3月15日(木)
和敬塾見学会 :: 13:00 - 14:00
シンポジウム :: 14:00 - 17:30
会場:和敬塾学生ホール小講堂

申し込み方法: 先着順 00名
参加費: 学生:1000円、CPD登録メンバー:1500円
会員:2000円、会員外:3000円
連絡先: 日本建築学会事務局 電話: 06703-34556-2051

<和敬塾見学会>
13:00-14:00 和敬塾見学会(小委員会主催・埼玉大学)

<シンポジウム・プログラム>
15:00開演 14:00-14:10 小委員会
Part1: 14:10-16:25 司会:中島 剛(金沢工業大学)
1. パネラー1-「むかしの大正・昭和前期の住宅にみるアノク・ロゼン・ツォーの
影響」 井上祐一(文化女子大学)
2. パネラー2-「建築史研究の現状」 駒 啓輔(北海道大学)
3. パネラー3-「わが国近代建築史」 高村 謙(法政大学)
4. パネラー4-「近代都市史研究について」 初田 亨(工学部)
Part2: 16:35-17:25 司会:大谷 誠(日本大学)
フリーディスカッション: 16:50-17:25 パネラー 松比呂 浩二(工学院)
17:25-17:30 内田清隆
※和敬塾見学希望者は、13:00和敬塾本館玄関前に集合してください。なお、
資料の都合から、見学希望者は事前にお申し込みください。



建築論・建築意匠小委員会

2007.3.20
於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

主査：小林克弘 目的： 既往研究の整理収集(基礎文献のデータベース化)
委員12名 方法論の研究(研究の対象とテーマ別の方法の把握)
WG10名 学際的, 国際的研究の交流(公開研究会の開催)
最近の活動 研究成果の公表(建築論・建築意匠事典の刊行など)

総合的な建築論・建築
意匠研究センター機能

1) 「建築論の現在」連続セミナーの開催

- 第1回「建築デザイン論の展開 - 建築・都市・環境を巡って」(2002/2)
- 第2回「生成の場所 - 森田慶一と堀口捨己の思索を通して」(2002/6)
- 第3回「建築論と実践的建築設計との架橋」(2002/11)
- 第4回「建築家論・作家論と建築デザインの応答 - 生命の建築
:ガウディとジュジョールを中心として」(2003/1)
- 第5回「歴史意匠論の可能性 - ライト, コルビュジエ, カーン, そして大江宏」(2003/6)
- 第6回「歴史・意匠・批評のロゴス - 神代雄一郎のアクチュアリティ」(2003/11)
- 第7回「建築家にとって建築論とは何か」(2005/2)

2) 2005年大会研究協議会「建築のデザインと論理の間」開催

3) 建築論事典の刊行

「建築論事典」の編集作業の継続 / 収録語彙の選定終了(2006年度)

継続的發展

今後の活動

- 1) 「建築論の現在」連続セミナーの継続 成果公表
- 2) 『建築論・建築意匠論事典』刊行の編集作業の継続
執筆者への依頼 / 最終的な編集作業

都市史小委員会

2007.3.20

於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

最近の活動

主査：伊藤 毅
委員15名、WG10名

目的：総合的に都市史研究を進展させるために、方法論や情報の交換・蓄積を行うセンター機能を学会に設けること。

1) 既往研究のレビュー

例：シンポジウム「都市史研究の可能性を探る」(1999)

2) 研究会・シンポジウムの開催

例：シリーズ「伝統都市の転換期」-中世から近世へ(2002),
近世から近代へ(2003),近代から現代へ(2004),
古代ならびにシリーズ総括(2005)
シリーズ「都市と建築」-第1回 内と外(2006)

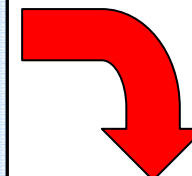


3) 国際交流

例：特別講演会(外国人研究者招聘)「ニューヨークの都市住宅史」(2000)

4) 研究成果の刊行

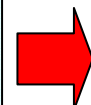
例：1999～2006年度活動記録刊行(2002以降毎年) / 『日本の都市の特質』(2003)



今後の活動

1) シンポジウム開催

例：「都市と建築 - 個と全体」(2007年12月予定)
都市と建築に関する一連のシンポジウムの第2回



持続再生型都市の将来を
考えるための基礎資料作り
国際化社会に向けての
世界各地の都市文化理解
都市史の重要性の社会的発信
Working Group活動を通じた
若手研究者育成

文化遺産災害対策小委員会

主査：足立祐司 目的：文化財建造物と歴史的環境が突発的な災害によって著しく棄損
委員15名 されていく状況に対して、有効な対策を学術的見地から検討する。

〔最近の活動〕

震災時の保護対策に関する調査研究
文化遺産の災害対策に関するマニュアルを作成。

(連携)

文化庁

〔今後の活動〕

平時の活動

- 1) シンポジウムの開催
文化財保護の状況調査
- 2) 文化財の災害対策を検討

(連携委員会・連携委員の協力)

災害時の活動

被災状況把握など

「歴史的建造物・環境保護
小委員会」

(防災委員会との協力)

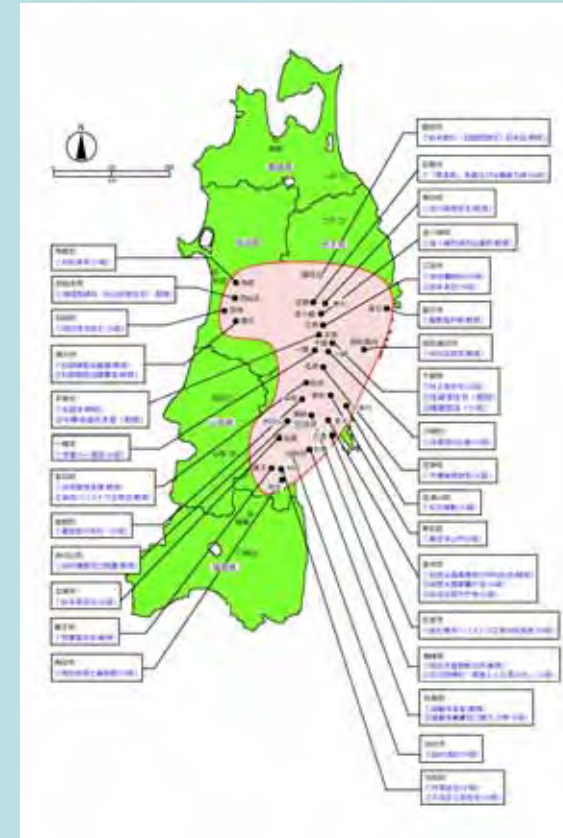
一般家屋や都市防災などの
体制検討

歴史的建築リスト整備活用小委員会

2007.3.20

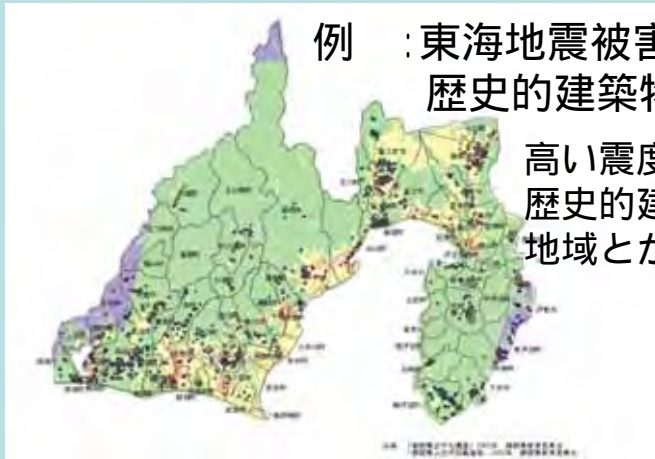
於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

1) 32,704件(2007/3/10現在)のデータが入力されたDB作成



2) データベース利用促進: 支部WGの設置・各地での活動事例

例 : 東海地震被害予想図と
歴史的建築物分布図の重ね合わせ



高い震度が予想される地域と
歴史的建築が高密度に分布する
地域とが比較的重なり合う。

例 : 宮城県北部地震(2003.5.26)の
被害と調査

地域との協働が重要
歴史的建築物の活用 / 都市再生との連携

3) パネルディスカッション開催

2005年度大会PD「歴史的建築リストDBの活用と直面する課題～地域・大災害・協働～」

歴史的建造物保存制度WG

2007.3.20

於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

メンバー

主査 後藤治(工学院大学)

清水慶一(国立科学博物館)

久保田稔男(同上)

大橋竜太(東京家政学院大学)

村上正浩(工学院大学)

科学研究費補助金(特定領域研究)

研究代表者(後藤 治)による調査研究

2006年3月 イギリス調査 に続き

2006年10月 ドイツ調査

歴史的木造密集市街地の防火対策に関する調査

調査結果の一部は大会研究協議会で発表

消火栓配置状況、消防活動、自治体のリスクマネジメント等を市町村の担当職員からのヒアリング調査によって実施



DOCOMOMO対応WG

2007.3.20

於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

主査：兼松紘一郎
委員 10名

目的： WG選定100選のデータ・ベース作成と情報公開
モダンムーブメントの好例の保存のための啓蒙活動

最近の活動

1) 選定建築物の社会への公表・発信 調査研究成果の社会的還元
「100選」巡回展覧会；名古屋(2005年10月)、大阪(2006年9～11月)
「20選」巡回展覧会；札幌(2006年10～12月)

2) 各年度WG選定の検討と公表
2005年度選定15作品の検討と公表
2006年度選定20作品の検討(検討中)

3) DOCOMOMO Japanの活動支援
DOCOMOMO Japan提出保存要望書を支援(例：国際文化会館、日土小学校)



今後の活動

1) 「WG選定100選」の調査・研究
「WG選定100選」のデータ収集とデータベース化
新たな選定 各年度選定建築物 / 地域選定
巡回展：各年度選定 / 地域選定建築物の公表

2) DOCOMOMO Japanの活動支援
活動の社会化と保存活動
国際交流：DOCOMOMO Koreaとの交流



文化遺産としてのモダニズム建築 DOCOMOMO100選地方巡回展

2007.3.20
於：学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会

「文化遺産としてのモダニズム建築DOCOMOMO100選展」：
東京(2005/3/12 ~ 5/8)
名古屋(2005/10/21 ~ 10/25)〔名古屋工業大学建築学科100周年記念〕
大阪(2006/9/23 ~ 11/5)

名古屋工業大学
建築学科と共同



名古屋展

DOCOMOMO20選展地方巡回
札幌(2006/10/7 ~ 12/10)

札幌展



- 1) 調査研究成果の社会的還元
- 2) 地域社会との連携

2005年度 DOCOMOMO 選定15作品

2007.3.20
於: 学術推進委員会
建築歴史・意匠委員会



DOCOMOMO Japan
2005

DOCOMOMO Japan と連携

2005年度

選定: 15作品を選定

公表: リーフレット作成

2006年度

選定: 20作品を選定予定

現在検討中

No1 甲子園大運動場 No2 北海道大学理学部附属厚岸臨海実験所 No3 飯箸邸 No4 作新学院円形体育館
No5 日本電波塔 No6 上小沢邸 No7 明倫学園円形校舎 No8 九州工業大学記念講堂および事務棟
No9 大和文華館 No10 新潟市体育館 No11 駒沢公園体育館・管制塔 No12 津山文化センター
No13 カトリック桂教会 No14 東京経済大学図書館 No15 桜台コートビレジ